

岡山市入札外部審議委員会の概要

令和3年第1回岡山市入札外部審議委員会(以下「審議委員会」という。)を下記のとおり開催しましたので、その概要についてお知らせいたします。

記

1 開催日

令和3年2月10日(水) 10時00分から11時30分まで

2 開催場所

岡山市水道局 6階 研修室

3 出席委員(敬称略 五十音順)

小野 絵美, 齊藤 政子, 中川 豊隆, 野田 尚紀, 矢吹 香月

4 事務局

(1)岡山市財政局

協本財務部長, 植月契約課長, 剣持工事契約担当課長, 石村契約課課長補佐(工事契約係長), 大木契約課物品契約係長, 遠藤契約課管理係長, 堀井契約課指導係長,
山根契約課副主査

(2)岡山市水道局

石井次長, 國富管財課長, 矢野管財課課長代理, 桜井管財課課長補佐(契約係長),
岡島管財課副主査, 白石管財課副主査

5 会議次第

1 岡山市抽出事案について

(1)工事契約

(2)物品契約

2 水道局抽出事案について

(1)工事契約

(2)役務契約

3 その他

6 会議概要

1 「瀬戸町総合運動公園のびのび広場遊具改修工事」及び「御津スポーツパーク遊具改修工事」について

委員：企画競争にした理由について教えてください。

市当局：企画競争にするかどうかは、担当課で判断します。本工事を企画競争とした理由ですが、地元協議の上、他の公園と同じような遊具を配置するのではなく、オリジナリティのあるデザイン性のあるものを設置してほしいという要望もあり、企画競争にしたとのことです。

委員：企画提案書評価基準の技術的評価と価格評価の配点はどのようにして決めるのですか。

市当局：局の審査委員会にて、事業内容により、技術的評価と価格評価の配点を決めています。本案件については、デザイン性等を重視した配点だと言えます。

2 (1) 「避難所用パーテーションおよび屋根」について

委員：同数量で区ごとに入札をしていますが、落札率が異なっているのはなぜでしょうか。

市当局：落札業者が区ごとで異なっているため、落札率は違ってきます。

委員：なぜ、区ごとに分けて発注したのですか。

市当局：本来であれば同じものなので、一括発注という考え方になります。今回は、コロナウイルス感染症蔓延防止の為のものであり、各自治体も整備を早急に進めていて、全国的に需要が高くなり物が品薄になっている状況下で大量発注となると、応札可能な業者がいなくて不調となる恐れが考えられたため、区ごとに発注することで、発注単位数を減らし応札しやすくなるようにと考えました。また、例えば北区のみ落札され、他の区が不調となった場合であっても、北区に納入されたものが、南区の方で災害があった時には利用できるため、どこかひとつの区だけでも落札できれば対応が可能と考えて、今回は区ごとに分けての発注としました。

(2) 新型コロナウイルス感染予防対策に必要な物品の購入について

委員：落札率が非常に低いですが、許容価格の設定はどのようにして決めたのですか。

市当局：許容価格の設定については、今までの類似案件の落札額や参考見積などで積算します。コロナウイルス関連のものに関しては、昨年3月頃より品薄状態で通常の入札をしても物が入らないので、単独随意契約により緊急購入ということで対応していました。今回は、その時に落札した額を参考値として許容価格を算出しましたが、開札する頃には海外製品が大量に出回ったことにより市場価格が急落したため、落札率が低い結果となりました。

また、今回のように物の価格が著しく変動するような事態になったときの対応としては、契約課が特定の業者を指定することは出来ないため、まずは通常の業種区分で業者を選定し入手が不可能な場合は、別の業種区分で業者を選定します。そこですぐに購入可能ということになれば、業者が提示した金額で購入せざるを得ない場合もあると思います。

3 「妹尾団地加圧ポンプ場ほかポンプ及び電気設備取替工事」について

委員：不調が続いた原因は何かありますか。

市当局：配置予定技術者が確保できなかったことが、応札しなかった理由の一つと考えられます。発注予定は公表していますので、業者は技術者をどの案件に配置するかを計画して、応札をしたいと思います。どうしても3月末工期の工事が多いので、技術者がいない状況になりやすい傾向はあります。

委員：発注時期についての議論はされているのですか。

市当局：平準化を図るため、できるだけ年度前半からの発注を心がけていますが、順次進めて行くどうしても遅くなるものも出てきます。

4 「岡山市水道局検針及び料金徴収業務委託」について

委員：1者のみ応札になった理由は何かありますか。

市当局：本案件の実績のある業者は、把握しているところでは2者程度、共同企業体で応札可

能な業者は2者程度で、計4者程度です。少しでも競争性を図るために今回の入札から共同企業体の参加も可能としましたが、結果1者の応札でした。

委員： 応札者を増やすために、業務内容を分けて発注する等の検討はしたのですか。

市当局： 発注方法を検討するなかで、業務の分割や、エリアで分けるとの案もありました。他の自治体においても業務やエリアを分割して発注しているところもありますが、業務内容である、検針、料金の徴収、電話の一連の流れをスムーズに進めるためには、やはり一括で発注するほうがサービスの観点からするとよいのではないかとということで、業務内容を一括して発注することとしました。

(終了)